

50万都市「江東」 さらなる発展へ向けて

平成28年第一回区議会定例会が、2月24日から開会されています。会期日程は3月30日(水)までの36日間で、「平成28年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

区長所信表明(要旨)

平成28年度 予算編成の大綱

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復していくことが期待されていますが、海外景気の下振れなどのリスクにより、先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした経済情勢を踏まえ、国の平成28年度予算は「経済再生と財政健全化の両立する予算」として編成され、一般会計の予算規模は前年度比0.4%の増の96兆7,218億円で過去最大となっています。

また、都の平成28年度予算は「『世界一の都市』の実現に向けた取組を加速化・深化させ、力強く前進させる予算」として編成されており、一般会計の予算規模は前年度比0.8%の増の7兆110億円となっています。なお、特別区の財政運営に影響を与える都税収入は、前年度比3.7%の増の5兆2,083億円が5年連続の増となっています。

スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算

本区を取り巻く財政環境ですが、納税義務者数の増加や雇用・所得環境の改善等により特別区税は、前年度比5.1%の伸びを見込んでいます。また、特別区交付金は、法人住民税の一部国税化の影響が拡大するものの、人口増加に伴う需要の伸びや、普通交付金における子ども・子育て支援新制度等の影響により、前年度比3.6%増としています。

このように、本区歳入の根幹である特別区税、特別区交付金が堅

調に推移している今般を格好のチャンスと捉え、新たな課題への対応、真に必要な区民サービス向上のため、未来へ羽ばたく果敢な予算編成に取り組みました。

区の平成28年度予算は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツと人情が熱いまちをPRするほか、パラリンピック選手応援施策の充実など、区民を応援し、夢へと加速させる「スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算」として編成しました。

一般会計は前年度比6.7%の増の1,886億3,800万円で、過去最大の当初予算規模となっています。

予算の特徴としては「SPORTS & SUPPORTSブランディング推進事業」を開始し、ブランドコンセプトやロゴマークを活用して、本区の魅力を広く発信するほか、国のJETプログラムを活用した国際交流員の任用、障害者スポーツの普及振興などに取り組みます。

ハード事業として、私立保育所の整備を進め、千人を超す定員確保に努めるほか、学校の整備、既存校の改築・改修、15か所目の特別養護老人ホームを整備します。

ソフト事業としては「江東きつぷクラブ」の新規開設、蛍光灯および乾電池の回収方法を拠点から集積所へ移行し、水銀含有廃棄物の適正処理を徹底します。

その他の予算についても、コミュニティサイクルの区内全域への展開や、災害に強い燃え広がりないまちづくり、妊娠期から産後まで切れ目のない支援の開始、不妊治療への助成および通訳クラウドサービスの導入など、区民生活に

山崎区長が所信を表明



密接に関わる施策を充実します。予算編成にあたっては、自発的な事業の新陳代謝の徹底、民間委

託の拡大など、行財政改革にも積極的かつ着実に取り組みました。

本区の重要課題とその取り組み

築地市場の豊洲移転整備

昨年、都は新市場の正式名称を「東京都中央卸売市場 豊洲市場」と決定して、本年11月7日に開場することを発表しました。

本区は、今後も地下水管理シス

テムの運用状況などを注視し、継続して安全性の確保を求めています。また、市場に併設される千客万来施設は、豊洲市場との同時開設は困難な状況ですが、現在の築地のにぎわいを継承・発展させ、新たな観光名所となるよう早期の整備を求めています。



▲開場に向け工事が進む豊洲市場

3面へつづく